

# 「胎盤形成異常に起因する妊娠時合併症の病態解明に向けた研究」

当院では胎盤形成異常に起因する妊娠時合併症の病態解明に向けた研究（多施設国内共同研究）に参加しております。この研究は三重大学産婦人科が主任施設として、国内数施設の協力の下行われております。この研究は、胎盤形成異常に起因する妊娠時合併症の病態を解明することを目的としております。東京大学医学部附属病院は、三重大学で解析された結果を基に、基礎研究（マウス実験及び細胞実験）を行う研究分担施設として参加いたします。

## 【対象となる方】

2017年5月8日～2018年12月31日の間に三重大学産婦人科が症例登録した患者さん

## 【研究の意義】

胎盤形成異常に起因する妊娠時合併症の病態は明らかになっておりません。胎盤形成異常に起因する妊娠時合併症の病態を解明し、予後予測因子を同定することによって、胎盤形成異常に起因する妊娠時合併症の新たな検査法あるいは治療法の開発に繋がる可能性があります。

## 【研究の目的】

ヒトの胎盤形成異常に起因する妊娠時合併症の病態を解明し、予後予測因子を同定し、同様の分子機序がマウスなどの他の生物でも成り立つかどうか確認することを目的とします。

## 【研究の方法】

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、東京大学医学部倫理委員会の承認のうえ実施されます。三重大学で既に解析されたデータを用いて行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

また三重大学から当院に送られてくるデータ（匿名化された病歴聴取、身体所見、血圧・脈拍、心エコー検査の結果、母体血液及び尿・胎盤・臍帯血の解析結果）は資料4. 学外から送られるデータ一覧を御参照下さい。

上記の検体及びデータの使用は、当院では、2名（清水峻志、瀧本英樹）に限らせて頂きます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで2020年3月31日までに御連絡ください。ご連絡をいただかなかつた場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを

統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたします。下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

2017年9月

**【研究機関名】**

胎盤形成異常に起因する妊娠時合併症の病態解明に向けた研究班  
研究統括医師：三重大学医学部産婦人科教授 池田智明  
東京大学医学部附属病院は分担研究施設に登録しています。

本研究に必要な資金は、日本医療研究開発機構（AMED）研究費より拠出します。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

**【問い合わせ、苦情等の連絡先】**

東京大学医学部附属病院循環器内科 特任臨床医 清水峻志

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 35591） FAX：03-5800-9780

Eメールでのお問い合わせ：tshimizu227-tky@umin.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院

責任者名 肺高血圧先進医療研究学講座 特任准教授 瀧本英樹